

〇〇科における指導の重点（身に付けさせたい力） ※学習指導要領に照らし合わせて

[知識及び技能]

既習の常用漢字に加え、その他の常用漢字を読むことや学年別配当漢字配当表に示されている漢字を文や文章の中で適切に使える力

年度末評価は2月に記入になります。それ以外の欄は10月末が×切となります。各教科で検討・作成をお願いします。

	生徒の学力の状況（課題）	授業における具体的な改善策 （「主体的・対話的で深い学び」における）	手だての実施時期	年度末評価（2月）
第1学年	<ul style="list-style-type: none"> 文章における読解力・表現力の向上を図るためには、漢字の知識が必須であるが、その技能向上に関しては、漢字の読み書きでは足りず、漢字の意味もしっかりと習得しなければならない。また、文章表現の前提となる字を正確に綺麗に書くことも大切であるため、硬筆にも力を入れ、向上を図っていききたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 「書き写し読書」を朝読書の時間に継続して行うことや硬筆の時間を使い綺麗に漢字を書くこと、授業の最初に5分読書を実施することで、漢字と触れ合う機会を作る。 漢字レッスンをを用いて、毎時間5問漢字テストを行うことで、漢字の読み書き、漢字の意味を習得し、読解力、表現力の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝 毎時間の開始5分 	<ul style="list-style-type: none"> 学んだ漢字をもとに年度末漢字50問テストを実施した結果、平均40点であった。確実に身になっていると感じるため次年度も実施する。
第2学年	<ul style="list-style-type: none"> ノートやプリントなどの提出物で漢字を使わない生徒が多数いる。教科書の本文に出てくる小学生で学習する漢字を読めない生徒もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習として漢字学習を行わせ、授業の最初5分間で漢字確認テストを行う。 漢字テストを継続的に行い、合格点に達しない生徒に対して、補習学習会を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組んだ結果、漢字の知識が向上したと感じたので次年度も実施する。
第3学年	<ul style="list-style-type: none"> 作文や提出物で漢字を使わない生徒が多い。小学生で学習した漢字の読み書きが怪しい生徒も多い。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭学習として漢字学習を行わせ、授業内で漢字テストを実施する。 漢字テストを継続的に行い、合格点に達しない生徒に対して、補習学習会を行う 	<ul style="list-style-type: none"> 毎時間 	<ul style="list-style-type: none"> 取り組んだ結果、漢字の知識が向上したと感じたので次年度も実施する。

■ICT を活用した授業における改善策

1年
2年
3年

文章の推敲や意見の共有など、作業の簡略化や時間短縮につながるよう活用する。